

2021年度 第3回10月名大本番レベル模試 地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

問題 I

問 1 A, B, C 「図法」の重複は△1 点

問 2 6 点

地球の中心の光源から円筒に投影する心射円筒図法であることが共通点である。B 図法の円筒は経線に接し（経線に沿ってわずかに地表に食い込み）、C 図法の円筒は緯線（赤道）に接することが相違点である。

【加点ポイント】

- ① (共通点) 心射円筒図法／地球の中心の光源から円筒に投影 →2 点
(※「心射図法」「円筒図法」のみ →1 点)
- ② (相違点) B 図法の円筒は経線に接する
／B 図法の円筒軸は地軸と垂直である
／B 図法では円筒を地軸に対し垂直に巻きつける
／B 図法では円筒を地球に横向きに巻きつける →2 点
- ③ (相違点) C 図法の円筒は緯線（赤道）に接する
／C 図法の円筒軸は地軸と一致する
／C 図法では円筒を地軸と平行に巻きつける
／C 図法では円筒を地球に縦向きに巻きつける →2 点
(※②③をまとめて「投影面の円筒の向きが異なる」のみ →2 点／4 点)

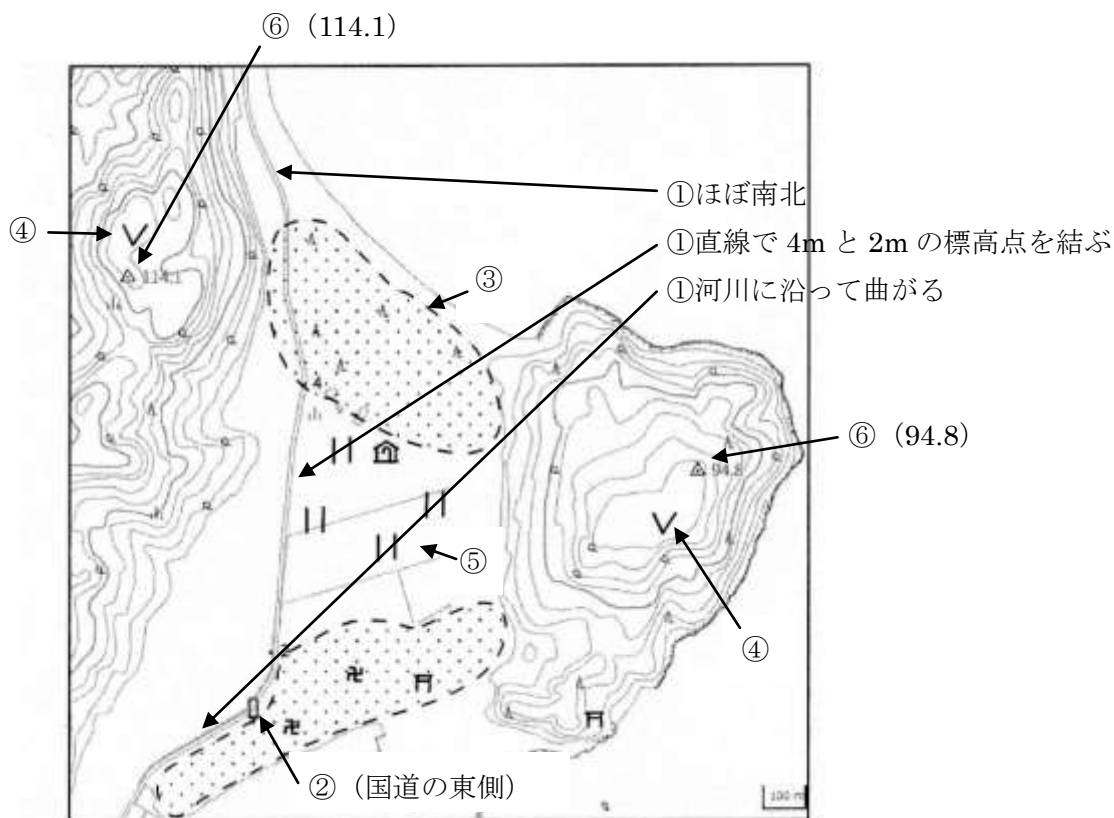
問 4 理由 8 点

イは他に比して気温が低いので、標高が高い F である。アは降水量が多いので、暖流上の湿気が南東貿易風でもたらされる東岸の G である。ウは降水量が少ないので、南回帰線に近く南東貿易風の風下にあたる西岸の E である。

【加点ポイント】

- ① (アは) 降水量が多い →1点
- ② (①の理由) 南東貿易風/貿易風 →1点
- ③ (①の理由) ②の風上/②により地形性降雨がもたらされる
/②が脊梁山脈に遮られる →1点
- ④ (イは) 気温が低い →1点
- ⑤ (④の理由) 標高が高い →1点
- ⑥ (ウは) 降水量が少ない →1点
- ⑦ (⑥の理由) 南東貿易風/貿易風 →1点
- ⑧ (⑥の理由) ⑥の風下/⑥が山脈手前で雨を降らせて乾燥風になる →1点
(※⑦⑧で「回帰線に近い」のみ →1点)

問5 12点



【加点ポイント】 ①～⑥ 各2点 (場所違いは加点しない)

- ① 国道 \equiv で記入 (3つのポイントを押さえて2点 2つのポイント→1点 1つ以下→0点)
- ② 記念碑の地図記号
- ③ 北側のトンボロの高まり
- ④ 2か所の畑の地図記号 (1か所1点)
- ⑤ 田の地図記号 (1個以上で加点)
- ⑥ 2か所の「三角点と標高」(1か所1点)

問題Ⅱ

問 1①理由 3 点

二度の石油危機が起こった 1970 年代以降、割合が低下しているものの、現在でも最も多く使用されているから。

【加点ポイント】

★問 1①「記号：A」の正解を加点の前提とする

- ① (1970 年代から現在まで) 最も多く使用されている →2 点
- ② 1970 年代から減少している／石油危機以降は減少傾向である／脱石油化が進んでいる →1 点

問 1②理由 2 点

1970 年代以降、一貫して割合が増加しているから。

【加点ポイント】

★問 1②「記号：C」の正解を加点の前提とする

- ① 1970 年代から割合が増加している／石油危機以降に利用が本格化した
／クリーンエネルギーとして利用が増えている →2 点

問 1(2)理由 4 点

東日本大震災時の津波による福島第一原子力発電所の事故を受けて日本各地の原発が停止されたため。

【加点ポイント】

★問 1(2)「語句：原子力発電」の正解を加点の前提とする

- ① 日本各地の原発が停止した／日本各地の原発の点検が必要となった →1 点
- ② (①の理由) 福島第一原子力発電所の事故／原発事故 →2 点
- ③ (②の要因) 東日本大震災／東北地方太平洋沖地震／津波 →1 点

問 1(5)理由 4 点

ボーキサイトからアルミニウムを生産するには大量の電力が必要であり、電気料金の高い日本では、アルミニウムを生産するより輸入するほうが安価だから。

【加点ポイント】

★問 1(5)「資源名：ボーキサイト」の正解を加点の前提とする (※「記号：R」の可否は問わない)

- ① (ボーキサイトの用途) アルミニウムを生産する／アルミニウムの原料となる →1 点
- ② (①に関連して) 大量の電力が必要／日本は電気料金が高い
／石油危機以降、電気料金が高騰した →2 点
- ③ アルミニウムを生産するより輸入するほうが安価／日本のアルミニウムは高価
／日本のアルミニウムは国際競争力を持たない／日本はアルミニウムの生産をやめた
／日本でのアルミニウム生産は採算が合わない →1 点

問 2(1) 6 点

トウモロコシやサトウキビを原料にしたバイオ燃料は、栽培の過程で光合成により吸収された二酸化炭素の量と、燃焼させたときに発生する二酸化炭素の量が同じになるとされるように、一連の人為的活動を行った際の二酸化炭素の排出量と吸収量が相殺されること。

【加点ポイント】

- ① (カーボンニュートラルは) 燃焼時の二酸化炭素の排出量と吸収量が相殺される
 - ／燃焼時の二酸化炭素の排出量と吸収量が同じである
 - ／燃焼させても二酸化炭素量は増加しない →2 点
- ② (①について) (原料の生育時の) 光合成により二酸化炭素を吸収する →2 点
 - (※「光合成」なし →1 点)
- ③ (具体例) バイオ燃料／バイオエタノール／バイオマス →1 点
- ④ (③の原料) トウモロコシ／サトウキビ／薪炭材／木くず／紙くずなど →1 点

問 2(2)風力 4 点

風の有無や強度により発電量が変化して安定性に欠ける。また羽根の回転による騒音などが周囲に被害を起す場合があるのに加え、建設適地が限られる。

【加点ポイント】

- ・風の有無や強度により発電量が変化／発電量が不安定
 - ・羽根の回転による騒音／振動／周辺住民の健康被害
 - ・建設適地が限られる／風が強いところにしか設置できない／建設コストがかかる
- } 1 つ 2 点
4 点まで

問 2(2)太陽光 4 点

夜には発電できず、日中も天候により発電量が変化するので安定性に欠ける。また山間部でのメガソーラー建設による景観の悪化、保水機能の低下、土砂災害などの可能性がある。

【加点ポイント】

- ・夜や天候の悪い日は発電できない／発電量が不安定
 - ・景観の悪化
 - ・山間部の建設による保水機能の低下／土砂災害
 - ・太陽電池 (太陽光パネル) のコストが高い／太陽電池のメンテナンス費用が高い
- } 1 つ 2 点
4 点まで

問 2(2)地熱 4 点

地熱エネルギーが得られる火山性の地域の多くが国立・国定公園や温泉地などと重なるため、開発に制限があったり、地元観光業者らとの調整が不可欠であったりする。

【加点ポイント】

- ・建設適地が 国立公園／温泉地 などと重なる
 - ・開発に制限や規制がある
 - ・景観の悪化／地元観光業者からの反対が多い／温泉枯渇が懸念される
- } 1 つ 2 点
4 点まで

問題Ⅲ

問1(2) 6点

ナイジェリアでは、南部のキリスト教徒の民族と北部のムスリムの民族との間に対立関係があり、内戦にも発展した。そのため、特定の民族だけに有利にならないように、国土のほぼ中央に首都機能を置くことになった。

【加点ポイント】

- ① (民族問題) 南部(南東部)のキリスト教徒と北部のムスリム(イスラム教徒)の争い →2点
(※「南部と北部」「キリスト教とイスラム教」「イボ人とハウサ人(フラニ人)」のみ →1点)
- ② (遷都の契機) 内戦/ビアフラ戦争/ビアフラ内戦
/石油資源を持つ南部の民族(イボ人)が独立を宣言して争った →2点
- ③ (新首都の位置) 国土のほぼ中央/南部民族と北部民族の間
/特定の民族の有利にならない/どちらの民族にも属さない州 →2点

問1(4) 7点

ブラジルでは、沿岸部に人口と産業が集中していたため、内陸部の開発の拠点として新首都が建設された。ジェット機を模した独特の街路網を持ち、その機首部分に行政・立法・司法の三権の建物が設置されている。

【加点ポイント】

- ① (遷都の目的) 内陸部の開発/内陸部と沿岸部の格差是正/沿岸部の過密の軽減
/内陸部は開発が遅れていた →3点
- ② (街路網の特徴) ジェット機の形/飛行機の主翼を模した →2点
- ③ (②の) 機首部分(頭部)に行政・立法・司法の三権の建物(機能)
/機首部分に大統領府・国会議事堂・最高裁判所などが立地
/胴体部分が行政・業務的地域で翼部分が住居地域 →2点

問2理由 7点

ホンコンでは、資本主義のイギリスから社会主義の中国への返還を前に、社会体制の変化に対する不安が高まった。そのため、多文化主義を掲げるカナダの中でもとくに移民の受け入れに寛容なヴァンクーヴァーに移住する人が増えた。

【加点ポイント】

- ① (Xの都市名) ホンコン →1点
- ② (Yの都市名) ヴァンクーヴァー/バンクーバー →1点
- ③ (Xの事情) 中国への返還/資本主義から社会主義への変化/社会体制の変化 →3点
- ④ (Yの事情) 多文化主義/移民の受け入れに寛容 →2点

問3 10点

第1期は、日本の農村で余剰労働力となった人々が、ファゼンダの労働者になるためにブラジルに移住した。第2期は、その子孫である日系ブラジル人が、法改正で日系三世までの就労が認められるようになった日本に移住し、自動車関連工場の多い地域などで働くようになった。第3期は、リーマンショック後の不況による影響で工場を解雇され、日本からブラジルに帰る日系人が増えた。

【加点ポイント】

- ① (第1期) ブラジルへの移住 →1点
- ② (①の移住者) 日本の農村の余剰労働力/貧しい農村から →1点
- ③ (②の就労先) ファゼンダの労働者/コーヒー豆農園の労働力 →1点
- ④ (第2期) 日本への移住 →1点
- ⑤ (④の移住者) 日系ブラジル人/日系人/②の子孫 →1点
- ⑥ (⑤の背景) 入管法の改正/出入国管理法の改正/改正入管法による
/日系三世までの就労が認められるようになった →1点
- ⑦ (⑤の就労先) 自動車関連工場/製造業/単純労働力として →1点
- ⑧ (第3期) ブラジルへの移住/日系人のブラジルへの帰還 →1点
- ⑨ (⑧の要因) 不況/製造業の不振/工場の閉鎖/日系人の解雇 →1点
- ⑩ (⑨の背景) リーマンショック →1点

問題IV

問1 7点

いずれも沈水海岸で複雑な海岸線を有するが、Aは氷食谷が沈水してできた湾の奥行きが深いフィヨルド、Bは河食谷が沈水してできた湾の奥行きが浅いリアス海岸である。

【加点ポイント】

- ① (Aの地形名) フィヨルド →1点
- ② (Bの地形名) リアス海岸/リアス式海岸/リアス →1点
- ③ (特徴の共通点) 複雑な海岸線/鋸歯状の海岸線/入り江が発達/水深が深い →1点
- ④ (成因の共通点) 沈水した/陸地に海水が侵入した/陸地の沈降/海水面の上昇 →1点
- ⑤ (Aの元の地形) 氷食谷/U字谷 →1点
- ⑥ (Bの元の地形) 河食谷/V字谷 →1点
- ⑦ (入り江の特徴) Aは奥行きが深くBは奥行きが浅い/Aの方が湾口から湾奥までが長い →1点

問2説明 6点

kは暖流と偏西風の影響で、一年を通じて湿潤となるが、mは夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受け乾燥、冬季に亜寒帯低圧帯の影響を受け湿潤となる。

【加点ポイント】(※記号の可否は問わない)

- ① (kの降水パターン) 一年を通じて湿潤/年中降水がある/乾季がない →1点
- ② (①の要因) 暖流/北大西洋海流/沿岸部で水蒸気量が多い →1点
- ③ (①の要因) 偏西風 →1点
- ④ (mの降水パターン) 夏季は乾燥し冬季は湿潤/夏は少雨で冬は降水に恵まれる
/夏季に乾季がある →1点
- ⑤ (④の要因) 「夏季」に「亜熱帯高圧帯/中緯度高圧帯」の影響 →1点
- ⑥ (④の要因) 「冬季」に「亜寒帯低圧帯/高緯度低圧帯/偏西風/寒帯前線」の影響 →1点

問3説明 10点

pは農地面積が狭く集約的な農業である酪農や園芸農業が盛んである。qでは農地面積が広く商業的に小麦などの穀物が栽培されている。sでは温暖な気候を活かして輸送園芸や地中海式農業が行われている。

【加点ポイント】(※記号の可否は問わない)

- ① (pの特徴) 酪農が盛ん/畜産が盛ん →2点
- ② (pの特徴) 園芸農業が盛ん/輸送園芸/遠郊農業/輸出向けの野菜生産
/穀物の生産が少ない →1点
- ③ (①②の背景) 農地面積が狭い/国土面積が狭い/干拓地が多く穀物栽培に向かない →1点
- ④ (qの特徴) 小麦の栽培が盛ん/穀物栽培が多い/商業的に小麦を栽培/混合農業が盛ん →2点
- ⑤ (⑤の背景) 農地面積が広い/温暖で降水に恵まれる/平野が広い →1点
- ⑥ (sの特徴) 園芸農業が盛ん/輸送園芸/遠郊農業/輸出向けの野菜生産 →1点
- ⑦ (sの特徴) 地中海式農業/果実の栽培が盛ん →1点
- ⑧ (⑥⑦の背景) 温暖な気候/夏の高湿乾燥/地中海性気候 →1点

問4説明 3点

EUに加盟したことにより、外国の自動車メーカーが安価な労働力を求めて進出してきたため。

【加点ポイント】(※記号の可否は問わない)

- ① (契機として) EUに加盟 →1点
- ② (①により) 外国の自動車メーカーが進出した/西欧の工場が移転してきた →1点
- ③ (②の背景) 安価な労働力/工業の基盤が整っていた/熟練労働者が多い →1点

問5 説明 5点

北中部に比べて陽光に恵まれて物価も安いいため、南部が長期にわたる休暇期の滞在地として好まれ、北中部から南部への移動が多い。

【加点ポイント】(※記号の可否は問わない)

- ① (移動の特徴) 北中部(北部)から南部への移動が多い →2点
- ② (南部について) ・陽光に恵まれる／暖かい／夏は高温乾燥である →1点
・物価が安い／経済水準が低い／所得が低い／リゾート地の開発が進む →1点
- ③ (北部について) ・気温が低い／陽光に恵まれない →1点
・所得が高い／休暇制度が整う／長期休暇が取りやすい →1点